

低コスト森林作業システム研修会を開催

去る7月26・27日の2日間、低コスト森林作業システム研修会を開催しました。

低コスト森林作業システムとは、丈夫で壊れにくい作業路網と高性能林業機械を組み合わせた、低コスト・高効率な森林整備システムです。

その中でも、今回はシステムの基盤となる作業路について、先駆的に取り組んでいる高知県四万十町から講師をお招きし、「四万十式作業路」の構造や開設方法、路網配置を中心に研修を行いました。

今後は、「四万十式作業路」をもとに、本県の地形や条件に合わせたシステム作りを行い、より低コストで高効率な森林整備を実施していきます。



2日間で200名を超える参加者



講師の田邊さんは、その道のプロ



法面に現地発生丸太や伐根を利用



沢は、丸太と伐根を利用し渡る



丁寧に締め固めれば車両進入も可



路肩すれすれまで立木は残します

研修会の詳細は以下のとおりです

場 所：白鷹町浅立地内（林道置賜東部線沿線）

主 催：山形県・東北森林管理局山形森林管理署・山形県林業労働力確保支援センター

後 援：山形県森林組合連合会・財団法人 山形県林業公社

講 師：高知県四万十町 林業政策監 田邊由喜男 氏

林野庁国有林野部業務課 企画官 小原文悟 氏

内 容：（26日）四万十式作業路の開設実演及び実技指導

（27日）高性能林業機械による伐採及び集材の実演

参集範囲：森林組合・素材生産業者・建設業者・市町村・県・国関係者ほか